

定例法座

講師 当山若院主

2022・7・16(土)

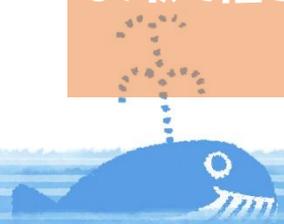
講題 地獄・餓鬼・畜生のない世界を生きる



地獄・餓鬼・畜生は他人事だと捉えがちですが、私たちの姿ではないでしょうか。私たちの世界は些細なものから戦争など争いが絶えません。そんな争うことばかりの、どうしようもない私をお救い下さるのが阿弥陀さまです。如来様の世界には争いはありません。そのままの私を引き受けて下さるのです。

なかなか難しくはありますが、『浄土真宗の生活信条』にもございますように、み仏の教えにしたがい、正しい道を聞きわけて、互いにうやまい助けあいながら争いのない世界を歩みたいものです。

戦争や様々な悲しいニュース報道が多い今、心に沁みる定例法座のお取り継ぎでした。





法話の後に続いて、38年前の読売テレビの「宗教の時間」の録画を皆さんで観ました。「野田村二十一人討死証如上人御消息披露法要」を取材して下さったもので約15分。

何と言っても一番盛り上がったのは、若かりし頃の凛々しい筆頭総代の今井さんが御消息を運んでいる姿が映った時でした。今井さんは前住職の代から総代をされている方です。今井さんから見たら現院主はひょっこかもしれませんね(笑)

懐かしい亡き方も沢山映っておられました。証如上人をお守りして亡くなられた二十一人の方をはじめ、映像に写っておられた方、またこの度お参り下さった方々…沢山の方々のお陰さまで脈々とお念仏の相続がされていることに改めて気づかされたご縁でした。

